



—— 発刊にあたって ——

ALL 富山 COC+ 事業は、富山県全体を事業協働地域として、県内のすべての高等教育機関が連携し、県内全ての地方公共団体や企業等と協働して、地元就職率の向上を目指し、地方創生に結びつく「未来の地域リーダー」を育成することを通じて、地(知)の拠点として地域に貢献することを目的としています。

このたび、ALL 富山 COC+ ニュースを発行し、本事業の取組等について紹介していくこととなりました。関係各位の協力・信頼の循環により、本事業を推進していきますので、よろしくお願いいたします。

ALL 富山 COC+ 統括コーディネーター 尾山 真

富山大学合同企業説明会を開催

2017年5月20日(土)
富山大学学生会館・ホール

富山県内で活躍する優良企業 79 社が参加。各ブースでは就職活動中の学生たちが、熱心に採用担当者の説明に聞き入り、質問を投げかけていた。実際に富山で働いている地元企業の採用担当者から直接話を聞くことができ、学生は働く姿を具体的にイメージできるよい機会となった。



参加企業の声



ウッドリンク株式会社
経営管理部人事総務課
松林 美穂さん

私も富山大学出身です。自分自身の立場に置き換え、学生の気持ちを理解して採用に当たりました。弊社には富山大学のOB、OGも多く、マナーが良く明るくはきはきしているところが評価されています。



ビニフレーム工業株式会社
人事部担当部長
加藤 淳二さん

今回は、富山大学の学生対象なので、業務内容など具体的に絞って説明ができる所が良いですね。弊社が求めているのは、積極的にコミュニケーションがとれる人材です。学生の熱意も感じられ、参加したメリットは十分にありました。

学生の声



畑山 直哉さん
(理工学教育部2年)

自分が希望する仕事ができる業界を幅広く知りたと思って参加しました。大規模な合同説明会では時間制限がありますが、今回はじっくりと話を聞けました。富山で働くからには、地元で貢献できる企業に就職したいと思っています。



古場田 典子さん
(人文学部4年)

営業職を希望しています。富山大学の学生を採用したい企業が参加しているので、どんなことも聞きやすく、また採用担当者の方も北陸の人ばかりなので、共感できる部分が多いのも良かったです。

キャリアデザイン講座を実施 (高岡南高等学校)

2017年5月25日(木)

高校生に地域(地方)で学び働く積極的な意義を考えてもらうことを目的に、五福・杉谷キャンパスで同時に開講。五福キャンパスでは、森口生涯学習部門長が「地域が活性化するためには、若者の“地域を変える力”が必要である。ぜひ、将来地域で活躍できるような進路選択をしてほしい」と呼びかけた。定村COC+連携推進コーディネーターからは、具体的な富山大学での取組みとして、地元企業などと連携した「地域定着プログラム」として県内就職支援セミナーの開催、県内企業訪問の実施、海外展開する県内企業の訪問、中・長期インターンシップの実施、女子学生の地元定着支援等の地元就職支援を行っていることを紹介した。また、県外の大学から本学に就職した職員が、富山で働くことについての体験談などを披露した。

本講座の前後にアンケートを実施。高校生の現在の進学・就職に対する考えを調査した。

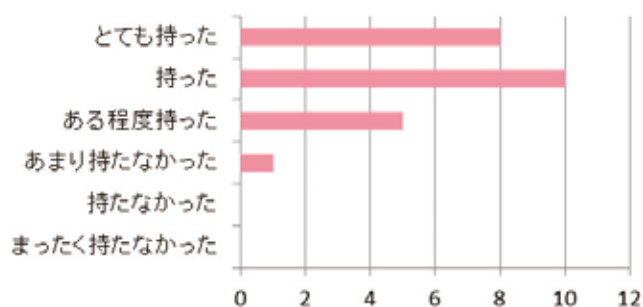
高校2年生が対象であったため、進学・就職先について未定と回答した人が多くいたが、受講後には未定と回答した人の約7割が地元での進学・就職に関心を持った。受講前に県内進学・就職を希望していた人については約9割が、県外進学・就職を希望していた人についても半数以上が地元での進学・就職に関心を持った。

本講座をきっかけに自分のキャリアについて考えてもらい、「暮らしやすいから」といった消極的な理由ではなく、「富山をよくしたいから」といった積極的な意識を持って地方創生の一翼を担ってくれる人が一人でも増えることを願っている。

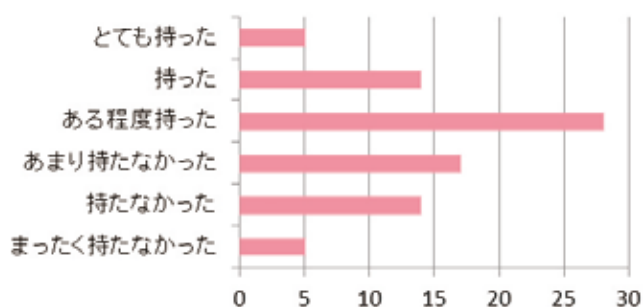
高校生へのアンケート結果

県内進学について

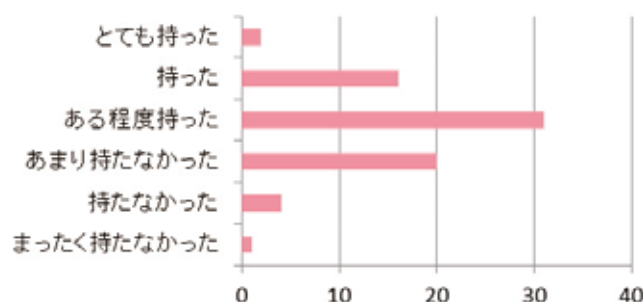
県内進学希望者の地元での進学への関心



県外進学希望者の地元での進学への関心

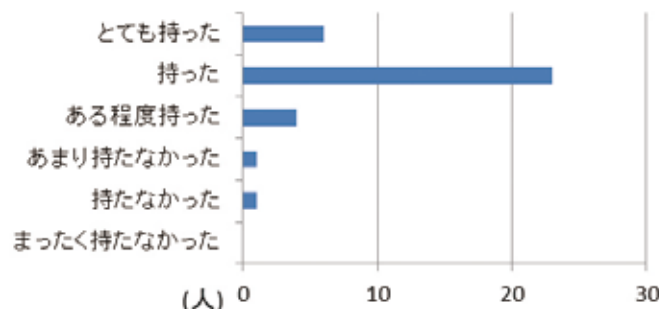


進学地未定者の地元での進学への関心

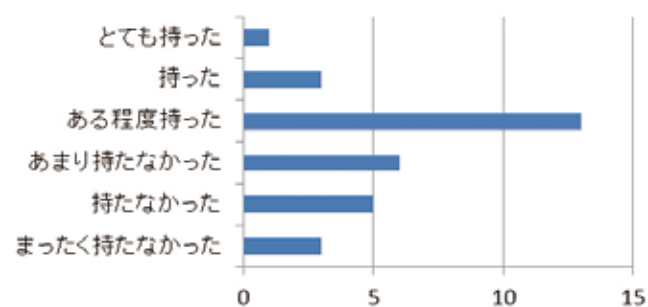


県内就職について

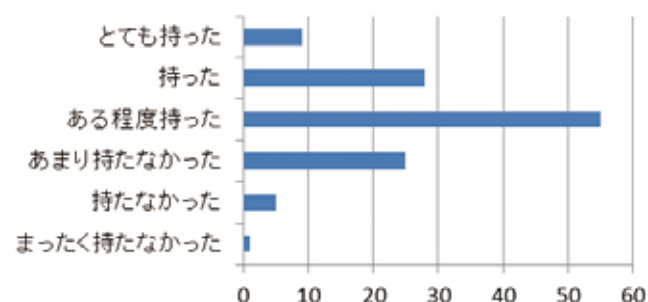
県内就職希望者の地元での就職への関心



県外就職希望者の地元での就職への関心



就職地未定者の地元での就職への関心



富山県留学生等交流推進会議パネルディスカッション

テーマ：外国人留学生と地域活性化

2017年6月21日（水）
富山大学黒田講堂会議室

●パネリスト

- ・富山大学地域連携戦略室 COC+ 統括コーディネーター特命准教授 尾山 真 氏
- ・富山県商工労働部労働雇用課 雇用対策係長 廣瀬 智範 氏
- ・株式会社能作 産業観光部産業観光課 リナウド・マルタ 氏

●モデレーター

- ・富山大学国際部 留学支援課長 藤井 修治

始めに、3名のパネリストがプレゼンテーションを行い、尾山氏が富山大学COC+の現状と取組の概要を紹介、続いて廣瀬氏が、富山県が取り組む外国人留学生の県内就職促進について説明。県内企業に就職した外国人留学生OBのリナウド・マルタさんが、富山県で外国人が働き暮らす魅力について話した。パネルディスカッションでは、会場の参加者と共に、地域活性化や地方創生の観点から、外国人留学生の県内定着について意見交換を行った。



要な機会ととらえている。

Q 富山大学・田中国際部長：日本の大学は就職支援に重きを置いているが、フランスの大学ではサポートしないと聞いている。イタリアの大学はどうか？

マルタ◆確かに日本は手厚い。必要な情報がスムーズに得られるのも良い。イタリアでは自分たちで情報を集めていた。

田中◆そういう点では、日本のサポート体制は外国人留学生にとっても魅力があるように思う。

Q 富山市民国際交流協会・塚田富山市国際交流センター所長：欧米では『職に就いて』仕事をする。一方日本では『会社に就いて』仕事をするといわれる。欧米の場合は、何がしたいかを重視しているようだが、留学生はどちらの視点で仕事を決めるのか？

マルタ◆私の場合、日本語を活かして観光と関係ある仕事がいいなと思っていたが、情報がなければ仕事も見つからず大変だったかもしれない。日本の大学はとても手厚く支援してくれている。特に情報提供してもらえる点ありがたいと思う。

■パネルディスカッション

藤井◆2017年3月、富山大学の外国人留学生の国内就業率は37.3%と増加傾向にある。COC+の取組効果が出ているのでは？

尾山◆学生が県内企業に魅力を感じる要因の一つに「グローバルに活躍できる」ことが寄与している。

廣瀬◆県内企業に外国人留学生の採用について調査したところ、25%にあたる47社が「採用に関心がある」と回答。その背景には、県内企業のグローバル展開が大きく関係している。また、国籍に関係なく優秀な人材が採用できるという声も多い。

藤井◆優秀な人材の一人であるマルタさんは現在、どんな仕事を？

マルタ◆製品工程の解説をしている。特に海外の方がいらした時は、能作だけでなく、高岡のものづくり、富山の観光なども紹介している。

■質疑応答

Q 富山大学・篠原センター長：外国人留学生の就職者数がアップした要因は？

廣瀬◆合同企業説明会は海外留学生が県内企業を知るための重

■まとめ

藤井◆働くということは、その地で生活すること。外国人留学生を外枠でとらえるのではなく、企業、大学、市民団体や地方公共団体など、それぞれのコミュニティで考えなければならない。企業や地域のグローバル化により、誰もが働きやすく、暮らしやすい環境を整えていくことが重要である。



地域志向科目 ● 「地域ライフプラン」

第6回 富山(高岡市)で暮らす 課題「町屋で暮らす」

ゲストスピーカー ● NPO 法人 金屋町元気プロジェクト理事長 加藤昌宏氏



金屋町の紹介

かつて鋳物師の町として栄えた金屋町は、平成24年に「^い鋳物師町」として初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

明治初期から中期までは、金屋町で作られる高岡銅器の美術品や鋳造技術が海外でも高く評価され、鋳物産業が栄えたが、戦後、技術者が減少。さらに火災や騒音の面から銅器団地（高岡市戸出）に移転することを市から推奨され、その頃から、金屋の町屋に空き家が目立ち始めた。

まちづくりの歴史

昭和57年に「金屋町まちづくり推進協議会」が発足。市へ

の要望が認められ、市の都市計画事業として県内初の無電柱化、消雪装置のある石畳工事が実現。62年には、町屋と町並みを守る「金屋町まちづくり憲章」を独自に作成。まちづくり事業として、住民が町を正しく理解し、共通意識を持つための「金屋学（郷土を学ぶ講座）」を開始した。このほかマップの作成、先進地視察研修、「金屋町通信」の毎月発行、ふいご祭り、富山大学芸術文化学部・高岡市との協働による「金屋町楽市」も行っている。

定住促進活動

平成に入り、人口の減少—特に若者の流出に危機感を持った金屋町は、平成25年に「金屋町元気プロジェクト」を設立。「高岡鋳物発祥の地として、地域住民が住みやすい街、来街者が訪れ、住みたくなるような街」を目指し、特に子育て世代や若手クリエイターを対象に定住促進を目指した。26年には定住促進計画を策定。空き家対策のため、空き家を利用したい人と所有者をマッチングさせるシステムを構築。27年には定住促進サイトを開設して情報を全国へ発信、「とやま暮らしセミナー in 東京」にも参加するなど、積極的にPRした。現在は、移住希望者向けに、町屋体験宿泊施設を検討中。また、若手クリエイターの移住を推進するため、今後も工房や住居の提供・就業支援を図っていく。

“未来の地域リーダー塾”入塾者募集!!!

地域で自立的な活動ができる人材育成を行います

入塾

未来の地域リーダー塾
メンバー

ワーキンググループ
メンバー

地域課題解決型
人材に成長

メンバー参加

提供される情報や講座を就活に活用する。地域活動情報をもとに参加し経験を深める。

- 県内企業情報の提供
- 地域活動情報の提供
- 講座開催情報の提供 など

WG参加

【就職活動ワーキンググループ】
自分達に必要な自己分析や企業研究などを企画し実施する。

【地域活動ワーキンググループ】
自分達がやってみたい地域活動の企画を立て運営する。

- 専門家の紹介
- 活動のコンサルティング
- 自治体や企業と繋ぐ など

地域連携戦略室

入塾の
お問い合わせ
お申込み先

富山大学
地域連携推進機構
地域連携戦略室
TEL: 076-445-6177
E-mail: t-senryaku@adm.
u-toyama.ac.jp